



連絡先
小竹ひろ子事務所
文京区白山3-2-5
電話 3815-9301
FAX 3815-7663

「震災予防からも危険な白ガスの取替は急務」—小竹前都議

東京ガスの回答↓「自治体からの求めがなければなんらかの情報提供する」

小竹ひろ子前都議は、金子輝慶文京区議、秋間洋台東区議とともに白ガス管の撤去・交換費用の費用負担や安全対策推進を求め、10日衆議院会館内で東京ガス本社に対して申し入れを行いました。

東京ガスの管内には、未対策管は49万本もあります。同社は昨年の夏から十数万通の通知をだして利用者に「白ガス管の取替え」を呼びかけていますが、工事を行ったのは0.5%でほとんど進んでいません。

地中に長期間埋設された管は、土壌と反応して酸化腐食、亀裂が生じる危険があります。

現にガス漏れで爆発・死亡事故が多発しています。

震災予防、地域防災、木造住宅密集地域対策のために、自治体が事前に現状を正確に把握することはどうしても必要です。小竹前都議は「東京ガスが各自治体に知らせるべきではないか。企業の社会的責任を果たすべき」と強調しました。今回、東京ガスが前向きな回答をしたことは重要だと思えます。

同時に、取替え費用についても東京ガスと国の責任ある対応が必要です。（『東京民報』四月二一日号に紹介記事が掲載）



東京ガス本社に申し入れる金子てるよし区議、小竹ひろ子前都議、吉良よし子さん、写真左から

白ガス管に関する申し入れ

東京ガス株式会社 代表取締役社長 岡本 毅 様

- ①災害予防対策が進むよう自治体へ白ガス管など経年管について情報提供を。
②白ガス管の撤去・交換工事について、工事費分割払制に留まらず、生命・財産を守る立場で、改修を促進させる点から会社として負担軽減サービスの拡充を。
③巨大地震の被害予防が重視されている木造住宅密集地域では、地域全体の防災・防火対策が必要です。ガス事業者として国に対しガス導管劣化検査等支援事業の対象に木造住宅密集地域を加えるよう働きかけて下さい。

日本共産党前都議会議員小竹ひろ子
文京区議団・台東区議団

被災地にバラを—文京バラプロジェクト 東松島で5月6日に苗植えをしましょう

仙台の東松島大曲浜周辺で行われる予定だった苗植えイベントは、暴風雨のため4月7日から10日に延期となりました。当日は、小竹ひろ子前都議会議員は、東京ガスとの交渉もあり都合がつかせませんでした。この間小竹さんの呼びかけもあり13人の方から苗植えに応募（一口三千円）が寄せられています。大曲浜周辺を襲った津波は6mの高さで犠牲者は306名だったそうです。試験植栽を行った浦辺ふき子さんからは「大曲市民センターの阿部礼哉所長さんや日本共産党の長谷川市議の案内で玉造神社に行きました。津波で流された後を片づけるまでは復興したそうです。いよいよ本殿を建てるので、境内にハマナス（バラ科）を植えるプロジェクトを大変喜んでくれました」との報告がありました。

このプロジェクトが伝わり、中国の雲南省（世界的なバラの生産地）から千本の苗が石巻に届くそうです。文京区内でさらに呼びかけを広げて、連休の最終日の5月6日に、若者たち、小竹前都議らで現地での苗植えを行いたいと思えます

